



NEWS RELEASE

報道資料

2008年9月29日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ アレグザンダー・カースナー氏を取締役に任命

アプライド マテリアルズ (**Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT**、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 **CEO** マイケル・スプリンター) は **9月25日** (現地時間)、アレグザンダー (通称アンディ) カースナー氏を同日付で取締役役に任命したことを発表しました。同氏は戦略委員会のメンバーにも任命されています。

アプライド マテリアルズのジェームズ・C・モーガン会長は次のように述べています。「カースナー氏は米エネルギー省でエネルギー効率、建物、機器の規制責任者を務め、再生可能エネルギーに関する政策、技術、商業化などの面で強力なリーダーシップを発揮してきた人物です。氏がグローバルなエネルギー市場で積み重ねてきた広範な経験は、エネルギーと環境ソリューションを今後の重点戦略に据えるアプライド マテリアルズの取締役会にとって、心強い味方となるでしょう」

カースナー氏は米国エネルギー省で **2006年3月** から **2008年8月** までエネルギー効率・再生可能エネルギー担当次官補を務め、応用科学、研究、開発、配備の各分野にわたる連邦予算 **17億2,000万** ドルを管理し、再生可能で環境保全に役立つエネルギー技術の市場統合を推進してきました。また、国連の気候変動会議や主要経済会議、アジア太平洋パートナーシップなどに米国代表として参加して大きな貢献をもたらし、「バリ・ロードマップ」の採択に尽力しました。これは **2012年** 以降のエネルギー保全と排出削減に向けたグローバルな枠組みの合意作りを目指すものです。さらにカースナー氏は、**2005年** エネルギー政策法と **2007年** エネルギー自立・安全保障法という **2つ** の重要な超党派立法の成立にも貢献しています。これらはアメリカの石油依存を緩和し、連邦調達のあるり方を変えるとともに、エネルギー効率に関する基準強化を目指すものです。

カースナー氏はエネルギー省に入省する以前、民間分野で国際的なインフラディベロッパー兼エネルギー事業家として、世界各地の大規模電力開発プロジェクトの管理と資金調達に携わり、実績を上げています。石油、天然ガス、石炭、風力、太陽光、バイオマスなど、各種のエネルギー技術やエネルギー源について幅広い経験を持っています。国際プロジェクト開発や再生可能エネルギーインフラの管理と資金調達を手がける企業 **Enercorp LLC** でマネージングディレクターを務めたほか、テキサス州の **Tondu Energy Systems**、フィン

ランドの **Wartsila Power Development**、その他多国籍エネルギー企業やディベロッパーに勤務した経験があります。

カースナー氏はライス大学で学士号（優等）、香港大学で修士号を取得しています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する **Nanomanufacturing Technology™** ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 9 月 25 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 13 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831)
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
